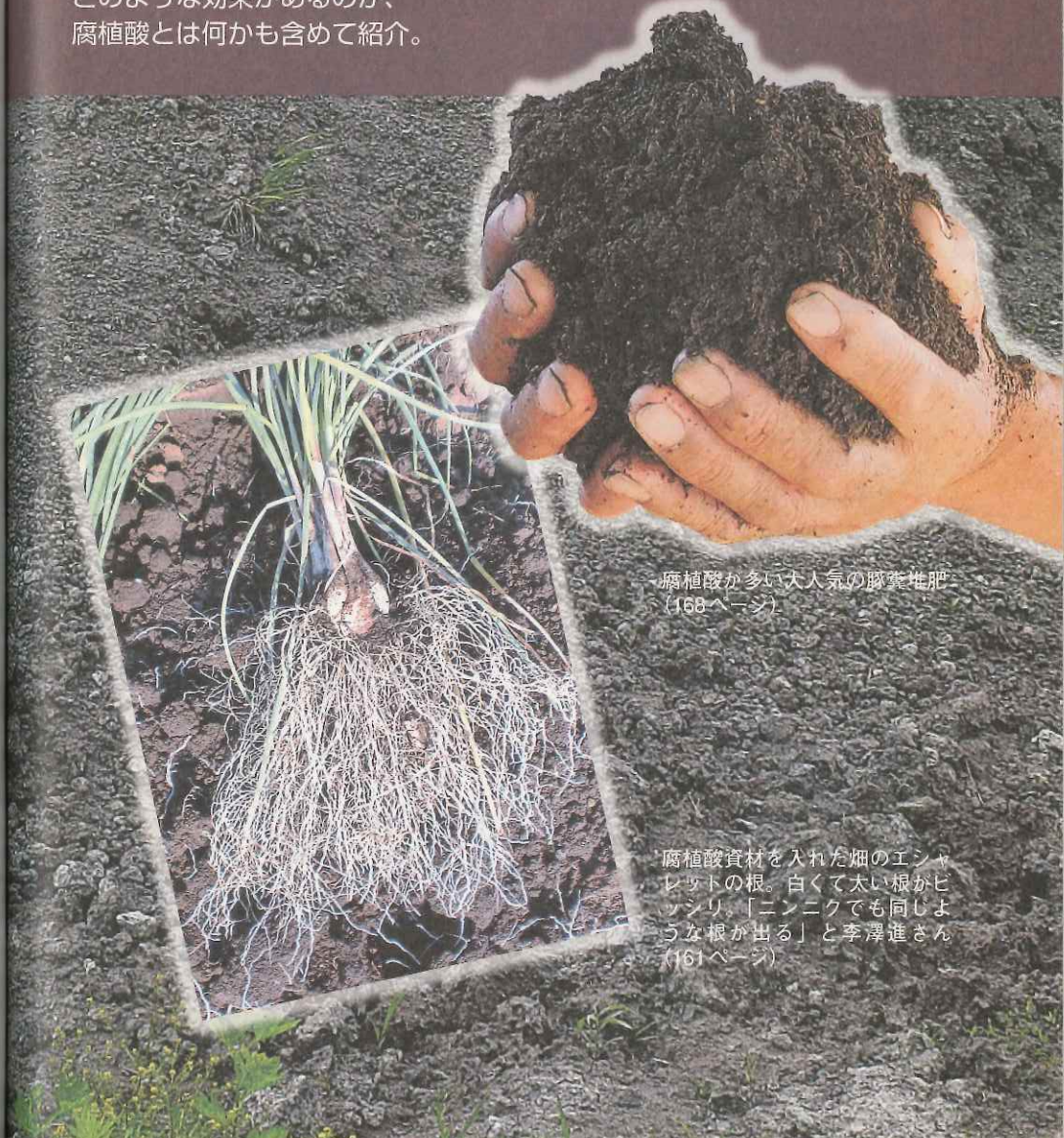


# 腐植酸が効く

腐植酸資材がひそかなブームになっている模様。有機物が長い年月をかけて土になっていく過程でできる腐植酸。どのような効果があるのか、腐植酸とは何かも含めて紹介。



腐植酸が多い大人気の豚糞堆肥 (168ページ)

腐植酸資材を入れた畑のエンヤレットの根。白くて太い根がピンピン。「ニンニクでも同じような根が出る」と李澤進さん (161ページ)

フミン酸に惚れた

## 土壌消毒なしでナガイモ連作

青森・李澤進 すももざわ

クロピクなくして  
つくれない

青森県七戸町の李澤進といいます。今年で六六歳、ずっと農業です。今は3haの田畑でナガイモ、ニンニク、米を栽培しています。

長年、ナガイモはクロピク（クロルピクリン）による土壌消毒を行なってきましたが、二〇年ほど前に、ふと「これでいいのか」と思いました。土のなかの微生物や小動物をすべて殺してしまう。そんな土でつくった野菜でいいのかと疑問に思えてきたのです。しかし、当地では「クロピクなくし

てナガイモはつくれない」というのが常識でした（今もそう）。ナガイモを連作する以上、必ずといっていいほど褐色腐敗病や根腐れ病が出ます。それでも自分の疑問が大きくなってきたので、クロピクを使うのを止めてみました。

### フミン酸で土を蘇らせる

ナガイモは1haほどつくっています。堆肥を多めに入れたり、有機肥料を使ったり、いいと思うことは何でも試しました。が、やはり病気は出ました。ひどいときは一〇aの圃場で半分近くが褐色腐敗病などにやられ、泣く泣く捨てたこともありました。

数年は苦しい状況が続きました。そんな頃、農機販売会社の土づくり講習会に参加して聞いたのが、今までのやり方とは違った、農薬でなく、自然の物質であるフミン酸（腐植酸）を使って土をよくするという話でした。山の



筆者。ナガイモ畑にて。通路にはマルチ用の大麦を栽培

落ち葉が積もり、何十年もかけてそれが土になっていく。その素になっているのがフミン酸であり、疲弊した土を蘇らせることができるとのことでした。

## ナガイモの病気が出なかった

翌年さつそく1haのナガイモすべてにフミン酸を入れました。当時は必死でしたので、当然のことをしたつもりでしたが、家内からは「これでうまくいかなかったら廃業」と言われました。秋の掘り取りが近づくにつれ、心配で眠れなくなる日もありました。

秋になり、ドキドキしながら掘り進みました。すると、きれいなナガイモがとれたのです。多少は病気が入ったものもありましたが、それでも一〇aに両手で数えられる程度。これはいけるぞ！と万歳したのを今でもハッキリ覚えています。以来、すべての作物にフミン酸を使うようになりました。

がよくなり、翌日には入れるような畑が多くなりました。

肥料が最後まで効く土になってきたようにも思います。普通はナガイモでもニンニクでも最初は葉色が濃くなり、収穫時には肥料が切れたように薄くなります。しかし私の畑はその逆で、最初は葉色が薄く、収穫に向かっで濃くなっていきます。最後まで株が元気なのです。フミン酸によって肥料が土に蓄えられるようになり、必要なときに吸われるようになったからでしょう。なぜこうなるのかわかりませんが、最近では近所の農家も驚いています。

## 有機物を入れることも大事

土づくりには有機物の投入も必要です。三年ほど前に堆肥の入手が困難になり、代わりに緑肥をすき込むようにしました。緑肥は作物に応じて使い分けていて、ニンニクにはセンチュウ除



フミン酸。商品名はロイヤルフミン（問い合わせ先、ロイヤルインダストリーズ㈱、03-3489-1408）。20kgで5000円（税別）。中国の泥炭が主原料。腐植酸含有率64%

## 一〇aに五〇kg

フミン酸（商品名・ロイヤルフミン）は、元肥と一緒に畑に全面散布し、耕起します。量は一〇a当たり五〇kg。ニンニク、ナガイモ、米だけでなく、家庭菜園にも同量入れています。ナガイモの病気は今でも出ることは出ます。それでも困るほどではありません。当初は、地上部のつるを這わせ

けのためのクロタラリア、ナガイモには根が深く張るエンバクを使って物理性の向上をはかっています。また「現代農業」を読み、ナガイモの通路にリビングマルチ用の大麦「てまいらず」を使ってムギマルチも始めました。

有機物を積極的に入れれば微生物も殖えてきます。そして、土の素であるフミン酸を入れることで、土が持つている本来の強さを引き出せるのではないかと考えています。

## 野菜の味もよくなった

土がよくなってくると作物の味もよくなってくるようです。出荷先はJAや市場が主ですので、お客さんから直接声が届くわけではありません。でも、できた野菜を親類や知り合いに送ると、甘みが強くて、口あたりがまるやかで、自然な味がすると、喜ばれます。ナガイモは口元や手がかゆくならないともいわれます。ニンニクはニン

全国平均価格 2,550円（税別）

るネットの支柱（パイプ）に直接触れたナガイモが必ず病気になる。支柱に病原菌が付いていたからでしょう。ただし、フミン酸を入れて四、五年くらいたつと、それも少なくなってきました。

病気が出にくくなった理由はよくわかりませんが、太くて白い根が多く出るようになりました。病原菌に侵されにくくなっているのかもしれない。

## 土が団粒化、排水もよくなった

当地では、春先にもすごい西風が吹きます。フミン酸を使い出して四、五年たった頃、隣の畑との違いを感じました。強風が吹いても土が飛ばされないのです。土が団粒化してきたのかと感じました。水はけもよくなりました。以前は雨が降ると通路に水が溜まりましたが、それがだんだんと水の引き

ニク臭が少なく、ニンジンも臭みがないので孫たちが喜んで食べます。「ニンジンもうないの？」と電話がよくかかってくるので、ニンジンはフミン酸を使って切らさないようにつくっているところです。

## フミン酸に惚れ込んで…

このようにフミン酸は私にとって切っても切り離せないものです。クロロピクリンを使わずにナガイモがつくれ、たことが大きかったわけですが、フミン酸でできた野菜は、ある意味、地球も人も元気にしていると思います。

私の夢は、フミン酸を使って安心安全な食物を提供する農家の会を作り、自然の摂理にあった農業と、そういう地球を取り戻すことです。

この原稿では自分の気持ちの半分も言い表せていませんが、フミン酸に惚れ込んだ、こんなバカな人間もいるということ。 (青森県七戸町)